

麻しん流行に伴う横浜市の緊急対策について

～ 平成20年3月21日から実施 ～

現在、全国的に麻しんが流行しており、国でも麻しん対策の強化のため、平成20年度から、予防接種を1回のみ接種している中学1年生及び高校3年生を対象に、5年間の時限措置として、麻しん、風しん予防接種の2回目の接種を実施します。

しかし、横浜市では他の自治体と比べ、麻しんの発生数が非常に多くなっており、早急な対策が必要なことから、さらなる麻しん対策として横浜市医師会の協力により、平成20年3月21日から麻しん予防接種の未接種・未り患の方を対象に、市費負担による予防接種（任意接種）を実施します。

1 麻しん流行に伴う横浜市の緊急対策

発症者が10代のワクチン未接種者に集中していることから、緊急措置として、市費負担による予防接種（任意接種）を実施します。

- 【接種対象】 1歳～高校3年生に相当する年齢で、麻しん予防接種を1度も受けておらず、麻しんに罹患していない方（定期予防接種対象者を除く）
- 【実施期間】 平成20年3月21日～平成21年3月31日まで
- 【使用ワクチン】 麻しん風しん混合（MR）ワクチンを使用
- 【実施場所】 市内のMR予防接種協力医療機関で実施
- 【費用】 接種費用の全額を市費負担
- 【持参するもの】 母子健康手帳、保険証等、接種者の住所・年齢が確認できるもの

※平成20年度以降の実施については、平成20年度予算が横浜市議会において議決されることを停止条件とします。

2 その他の麻しん対策について

（1）定期予防接種の確実な接種勧奨

健康福祉局、区福祉保健センター、衛生研究所、こども青少年局、教育委員会の連携により、横浜市ホームページや乳幼児健康診査、学校での就学時健診等での、確実な接種勧奨を行います。

（2）麻しん発生時の迅速な対応

幼稚園、学校等に対し、平常時の対策、患者発生時の対策についての手引を配布し、学校等において1人でも麻しん患者が発生した場合、手引に基づき、必要な調査及び指導を行います。

【 参考資料 】

1 全国での麻しん発生状況

	第1週 (1/1~1/6)	第2週 (1/7~1/13)	第3週 (1/14~1/20)	第4週 (1/21~1/27)	第5週 (1/28~2/3)	第6週 (2/4~2/10)	第7週 (2/11~2/17)	第8週 (2/18~2/24)	第9週 (2/25~3/2)	計 (1/1~3/2)
全国	87	155	244	266	519	460	556	466	479	3,232
東京都	11	16	26	23	46	43	61	75	78	379
神奈川県	40	60	95	106	179	174	230	158	196	1,238
横浜市(再掲)	17	20	38	37	54	64	92	56	71	449
川崎市(再掲)	1	7	2	9	7	8	7	2	8	51
横須賀市(再掲)	14	22	40	46	65	62	83	50	55	437
その他(再掲)	8	11	15	14	53	40	48	50	62	301

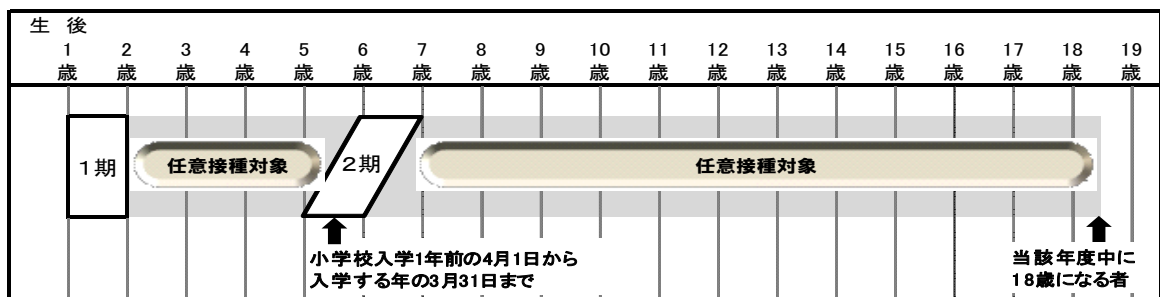
※平成20年1月1日より、麻しん患者の全数報告が実施されています。

2 麻しん、風しん定期予防接種制度について

実施期間	~H18. 3. 31	H18. 4. 1~H20. 3. 31	H20. 4. 1~H25. 3. 31
接種対象 年 齢	生後12か月~ 90か月未満	1期：生後12か月~24か月未満 2期：5~7歳未満で、小学校入学1年前 4月1日~入学する年の3月31日	1期：生後12か月~24か月未満 2期：5~7歳未満で、小学校入学1年前 4月1日~入学する年の3月31日 3期：中学1年生に相当する年齢の1年間 4期：高校3年生に相当する年齢の1年間
接種方法	【1回接種】 麻しん、風しん単 独ワクチンを1回 接種	【2回接種】 1期及び2期にMRワクチンを各1回接種 ※麻しん・風しん単独ワクチンも接種可	【2回接種】 ◆1期~2期 MRワクチンを各1回接種 ※麻しん・風しん単独ワクチンも接種可 ◆ 3期~4期 (20年4月~25年3月まで) MRワクチンを各1回接種 ※麻しん及び風しんに罹患した者又は麻し ん及び風しんワクチンをそれぞれ2回接 種した者を除く

3 横浜市での麻しん、風しん予防接種について

(1) 平成19年度 (平成20年3月21日~3月31日まで)



(2) 平成20年度 (平成20年4月1日~平成21年3月31日まで)

